



地域と生きる

おなが病院・おかがき病院だより

泌尿器科 新設のご案内



いちくら はるひこ
一倉 晴彦

このたび、地域の皆さまの排尿に関するさまざまなお悩みにお応えするため、泌尿器科を開設することとなりました。一倉 晴彦と申します。よろしくお願いいたします。

私は医師として三十年以上にわたり泌尿器科診療に携わり、ハイボリュームセンターの泌尿器科において長年勤務し、多くの手術や専門的治療を経験してまいりました。また近年は、高齢者を主な対象とする医療機関に勤務し、高齢者医療の現場において排尿機能の維持や生活機能の低下予防に重点を置いた診療に取り組んできました。泌尿器科専門医および指導医の資格を有し、医学博士の学位も取得しています。これまで培ってきた知識と経験を活かし、地域の皆さまに安心して相談していただける医療を提供することが、私の責務であると考えています。

【近年の泌尿器科と当科の方針】

高齢化が進む現代社会において、頻尿、尿失禁、排尿困難、血尿、前立腺疾患など、泌尿器科が担う役割は年々大きくなっています。排尿に関する症状は生命に直接関わるものではないと考えられがちですが、睡眠の質の低下や外出機会の減少、転倒のリスク増加などを通じて、日常生活の質を大きく左右します。そのため、排尿機能の維持と改善は、健康寿命の延伸にも直結する重要な医療課題であると考えています。

当科では、地域の皆さまにとって身近で相談しやすい診療科であることを大切に、幅広い泌尿器科疾患に対応してまいります。前立腺肥大症、過活動膀胱、尿路感染症、尿路結石、血尿の精査、前立腺がん検診など、日常的によくみられる疾患から専門的な疾患まで、丁寧な診察とわかりやすい説明を心がけ、患者さん一人ひとりの状態や生活背景に応じた適切な治療を提供していきたいと考えています。

具体的には 前立腺肥大症に対して、前立腺を切除せずに尿道の通り道を確保する「経尿道的前立腺吊り上げ術」も行っており、高齢の方や基礎疾患をお持ちの方にとっても有用な治療選択肢の一つとなっております。

外来診療から検査、手術、術後管理、長期的なフォローアップまで、責任を持って継続的に対応できる体制を目指してまいります。患者さんやご家族にとって分かりやすく、納得していただける医療を提供するとともに、地域の医療機関や介護施設との連携を大切にしながら、身近で信頼される泌尿器科として地域医療に貢献していきたいと考えています。

—— 泌尿器科のご案内 ——

泌尿器科では、下記の体制で診療を行っています。

診療日：月曜・火曜・水曜・木曜

診療時間：午後



おなが病院 新任医師紹介



外科

まえかわ そういちろう
前川 宗一郎

この度、縁あって 2026 年 4 月からおなが病院に着任しました前川宗一郎と申します。

昭和 57 年に九州大学卒業後、国立福岡中央病院(現九州医療センター)6 年、福岡市民病院 9 年、宗像医師会病院 23 年勤務し、合併症のない安全な手術・患者様に優しい医療をモットーに、消化器外科では主に胃癌・大腸癌等の消化管癌の治療、乳腺外科では乳癌その他の治療に従事してきました。

定年を過ぎ 68 歳の前期高齢者ではありますが、これまで培ってきた経験を活かして地域の皆様により良い医療を提供できるよう、また少しでも貢献できるよう、自分にできることは何でもやるつもりで努力する所存です。どうぞよろしくお願い致します。



整形外科

こが もとき
古賀 源基

2026 年 4 月より整形外科に勤務となりました。平成 31 年に佐賀大学を卒業後、福岡市民病院で初期研修を行い、九州大学整形外科に入局いたしました。

佐賀県医療センター好生館、唐津赤十字病院、福岡市民病院、原三信病院など地域の基幹病院での勤務を経て研鑽を積んで参りました。骨粗鬆症や変形性関節症、骨折などは日常生活の質に直結する大切な問題です。これまでの経験を活かし、地域の皆様にいつまでも元気に自立した生活が送れるよう最適な治療を提供してまいります。地域で求められる役割をしっかりと理解し、誠心誠意頑張ります。何卒宜しくお願い申し上げます。



消化器内科

いわたけ しろう
岩武 史朗

2026 年 4 月より消化器内科に勤務となりました岩武史朗(いわたけ しろう)と申します。2019 年に久留米大学を卒業し、福岡赤十字病院、九州大学病院、山口赤十字病院、JCHO 九州病院での勤務を経て当院へ赴任いたしました。

内視鏡を用いた消化管腫瘍の治療、炎症性腸疾患の治療に携わってきました。内視鏡検査では患者さんに負担の少ない検査を心がけております。消化管腫瘍の早期発見・治療させていただき、また消化器疾患の診療もぜひご相談いただければと思います。地域に貢献できるよう精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

お か が き 病 院 新 任 医 師 紹 介



あ べ しんたろう
阿部 慎太郎

2026 年 4 月よりおかがき病院内科部長として着任いたしました、
阿部 慎太郎(あべ しんたろう)と申します。
1985 年に産業医科大学を卒業後、同年同第3内科(消化器内科、肝胆
膵内科)に入局しました。その後、千葉労災病院、日本大学第1病理学、
NTT 北九州病院(現北九州小倉病院)、福島労災病院、産業医科大学
病院(2018 年より産業医臨床研修等指導教員診療教授に赴任)で、肝胆
膵領域を中心とした内視鏡治療・経皮治療、肝炎・肝臓に対する抗
ウィルス療法・全身化学療法、またプログラム責任者として臨床研修医の
指導・管理に携わってまいりました。

定年を過ぎ前期高齢者ではありますが、これまでの経験を活かしつ
つ、地域の中でのおかがき病院の役割を十分理解し、地域に密着した
医療に貢献できるよう精一杯頑張る所存ですので、何卒よろしくお願い
いたします。



なかむら はやと
中村 早人

2026 年 4 月より内科に勤務となりました中村 早人(なかむら はやと)
と申します。1985 年に産業医科大学を卒業後、社会保険稲築病院、NTT
北九州病院、産業医科大学病院で、消化管・肝胆膵領域の診療を行って
きました。1989 年からは産業医科大学大学院にて、肝線維化の機序に
関する研究を行いました。2000 年からは産業医科大学進路指導部の副
部長として勤務いたしました。産業医科大学医学部の使命は、産業医学
の振興と優れた産業医の養成、質の向上を目的としていますので、産業
医学進路指導部のスタッフとして学生や卒業生に対して、産業医の養成
に力を入れてきました。これからは、日々の体調不良から生活習慣病や
健康についての不安を抱える患者さんに対して、気軽に相談していただ
ける医師を目指しております。地域の皆さまが安心して暮らせるよう、丁
寧な診療とわかりやすい説明を心がけ、一人ひとりに寄り添った診療を
行っていく所存です。地域医療に少しでも貢献できるよう努めてまいりま
すので、どうぞよろしくお願いいたします。

おかがき病院看護部長就任のご挨拶



2026年4月1日付で看護部長を拝命いたしました松尾幸代です。平成17年4月に遠賀中間医師会病院に入職し、その後はおなが病院の手術室・HCU・外科系病棟で勤務してまいりました。おかげさまで、今年で入職22年目を迎えます。

おかがき病院看護部は病院理念である「地域から愛される病院」を目指し、患者様お一人おひとりの「その人らしさ」を尊重した看護の実践に努めております。

医療が進歩し環境が変化しても、看護の本質は変わらぬ「手当て」の心にあると私は考えています。病気や怪我に向き合う患者様やご家族の不安に寄り添い、安全で質の高い看護を提供することで、「ここに来てよかった」という安心と信頼を感じていただけるよう邁進してまいります。

また、地域の皆様が住み慣れた場所でその人らしく生活できるよう、医師会の病院として地域の関係機関とも密に連携し、顔の見える関係性を保ちながら温かな看護を届けてまいります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます

発行日:令和8年6月吉日

発行:遠賀中間医師会おなが病院・おかがき病院

編集:おなが病院・おかがき病院広報委員会